

スポーツデータサイエンス入門		講義	教授 柳澤 修
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの専門 選択科目、スポーツトレーナーコー スの専門選択科目	科目ナンバリング	11322225

1. 授業のねらい・概要

現代のスポーツ界では、様々なデータが競技力向上や障害予防、選手評価に活用されており、効果的なデータ活用の方法が重視されている。この授業では、様々な量的・質的データがどのように分析され、スポーツ現場で活用されているのかを学ぶ。加えて、実習を通じて、取得したデータを効果的にフィードバックする方法についても学習する。

2. 授業の進め方

資料を活用した座学と実習（データの整理）が中心となる。

3. 授業計画

1. ガイダンス	10. 表によるデータ提示
2. スポーツデータサイエンスとは	11. グラフによるデータ提示
3. データの見方：代表値について	12. スポーツ現場でのデータ活用：セイバーメトリクス
4. データの見方：データのばらつきについて	13. スポーツ現場でのデータ活用：ゲーム分析
5. データの見方：統計的有意差について	14. スポーツ現場でのデータ活用：アスリートのパフォーマンス評価
6. 差の分析に関する基礎的知識：t検定	15. スポーツ現場でのデータ活用：コンディショニング
7. 差の分析に関する基礎的知識：分散分析	
8. 関連の分析に関する基礎的知識：相関分析	
9. 関連の分析に関する基礎的知識：回帰分析	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

次回のテーマに関する基本的な用語は事前によく調べておくこと。なお、この事前準備には1時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

事前学習の課題に関しては、授業の冒頭で解説をする。

6. 授業における学修の到達目標

スポーツに関する量的・質的データの読み方やまとめ方について理解・実践できるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

期末レポート（100%）にて評価する。成績評価にあたっては、授業回数の2/3以上の出席を前提とする。

8. テキスト・参考文献

授業中に適宜配布する。

9. 受講上の留意事項

事前にもしくは併せて統計学関連の科目を履修していることが望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、国内トップアスリートを対象とした研究機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。